



みどりの女神の 佐野かなです！

林業機械免許取得への道（車両系建設機械、チェーンソー）

林業機械化協会の協力により、5月9日～14日に神奈川県相模原市のキャタピラー講習所において車両系建設機械、7月15日～16日に、群馬県前橋市の林業・木材製造業労働災害防止協会群馬県支部において、労働安全衛生特別教育（チェーンソーによる伐木等（大径木等））を受講しました。この講習により、「車両系建設機械運転免許」、「労働安全衛生特別教育等終了証」を取得することができました。

ユンボ、ブルドーザーやチェーンソーなど、林業には（伐木・造材、作業道の開設等）には欠かせない機械や道具なので、私も現場で働く皆様の気持ちになっ

て講習に臨みました。建設機械講習については、ユンボによる掘削、土砂の移動などバケットの正確で繊細な操作が要求され大変苦労しました。

チェーンソー講習については、チェーンソーのメンテナンスと安全の確保が大事であることを学びました。チェーンソーをよりいい状態で使用するためには、歯の目立て、清掃、点検が不可欠です。私も実際に目立てをしてみました。全部の歯の角度をそろえることで切れ味を調整するのはそう簡単ではありませんでした。しかし、作業道具を大切にメン

テナンスすることはプロの作業員にしてみれば当たり前のことです。作業員としてチェーンソーは大切な相棒なのですね。

また、チェーンソーでの仕事は、毎日危険と隣り合わせであるということを改めて認識しました。

作業員の方々は、自分の身は自分で守るという前提の元、スムーズに作業をするため技術を磨くことに専念しています。

私も実際に作業してみても、チェーンソーの基本作業である玉切りでさえ難しいと感じました。そして、現場の緊張感が怖いと感じたのも初めてです。

特に事故が起こりやすい場面は、伐倒したが木が他の木の枝等にかかってしまった「かかり木」の処理による重大災害が多いとのこと。このような事故を起こさないために、日々、作業現場では注意を呼びかけ、安全に配慮しています。

毎日、緊張をもって、現場で働く方々の意識や姿を尊敬します。

こうした方々によって、日本の林業が、森林が維持されているのだとこれからは目に心に焼き付けて生活していきたいです。

1人でも多くの方が、事故やケガなく安全に作業出来ることを願っています。

PROFILE



平成6年3月23日、静岡県生まれ。2015年ミス日本みどりの女神として活躍中！

佐野
かな
加奈

